

つばさ

平成 29 年度 生涯学習課だより

第 304 号 (8 月)



教育長 佐々木浩治

8 月も中旬を迎え、夏休みも残りわずかとなりました。まだ、学校の課題を終えていない子にとっては大忙しの終盤戦となりますが、このような時こそ、保護者の出番となります。答えを単に教えるのではなく、一緒に問題を解いてみたり、協力して作業などを行うことによって、子どもたちの良き思い出となります。また、子どもがどれだけその課題について理解しているのかを知ることでもあります。忙しいとは思いますが、この少しの時間を子どもたちと共有していただければと思います。

話は変わりますが、まもなく終戦記念日となります。豊浦町の子どもたちにとっては、いつもの年とは違う 8 月 15 日を迎えるのではないかと願います。それは、7 月に平和に関する行事を 2 つ行ったからです。

ひとつは、中学生による「修学旅行報告会」を授業参観日に合わせて行いました。これは、今年度の修学旅行の見学先を、東京・横浜方面から広島・大阪方面に変更したことに伴い、その学習成果をグループごとに発表したものであります。その中には、「広島平和公園について」「原爆ドームの敷地内と語り部さんの話か

ら学んだことについて」「被爆の被害者と復興について」などのテーマでまとめられ、子どもたちが広島を訪れ、そこで見たことや学んだことが話されていました。言葉としては言い尽くせなかったかもしれませんが、一人ひとりが心に残る体験をしてきたのだと感じることができました。

そして、二つ目は、この修学旅行に合わせて広島から被爆者の方をお招きし、その被爆体験を語ってもらった「平和学習講演会」を実施いたしました。この方は、自ら被爆するとともに家族の方も犠牲になっており、そのことでその後の人生に大きな狂いが生じ、自暴自棄になったり死を覚悟した時期もあったとのことでした。その失意の中でも、生きる目標を見つけ、自分のなすべきことは何かを考え、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えることが自分の使命であると考えたそうです。今日、平和に過ごしている私たちにとって、あらためて「戦争とは何か、生きることの大切さ」を考えさせてくれる講演会となりました。

お忙しい中、会場に足を運んでいただきました町民の皆様にあらためて感謝を申し上げます。

スポーツの夏到来!

7 月になって急激に暑くなりましたが、各種スポーツ行事も熱く盛り上がりました。

7 月 2 日 (日) は胆振管内軽スポーツフェスタのたまいれ競技が当町で行われ、町対抗戦で大いに盛り上がりを見せ、豊浦町のチームは男子が 2 位で女子が 1 位という好成績を収めていました。



7 月 4 日 (火) には大岸小学校体育館で移動ゲームスポーツ教室が開催され、『テニボン』が行われました。『テニボン』とは、『テニス』と『ピンポン』を足して 2 で割ったような競技で、様子町で生み出されたスポーツですが、こちらも参加者が熱い試合を繰り広げていました。